

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果より（31年度）

○結果の概要

国語は全国比1.2P高い。数学は全国比1.2P高い。英語は全国比2.0P高い。

平均無解答率では、全国平均より国語・数学・英語で、それぞれ1.7P、2.4P、1.4P低い結果であった。

○分析から見えてきた課題

[国語] 学習指導要領の領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均正答率を下回った。評価の観点「言語の知識・理解・技能」において全国平均正答率を下回った。また問題形式では「短答式」が大阪府正答率を下回った。

[数学] 学習指導要領「関数」「資料の活用」は全国平均正答率を下回った。評価の観点「数量や図形などについての知識・理解」が大阪府正答率を下回った。

[英語] 評価の観点「外国語表現の能力」は大阪府平均正答率を下回った。また問題形式では「記述式」が大阪府を下回った。

○質問紙調査より

3年間の調査項目を抜粋し、数値変化を比べてみると「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」は肯定意見が全国比0.8P高い。また「自分には良いところがあると思いますか」では「当てはまらない」と答えた割合が全国比4.5P高い。「将来の夢や目標を持っていますか」では肯定意見が全国比7.8P低く、「当てはまらない」が全国比7.1P高い結果であった。

学習に関しては家庭学習に取組む生徒と取組まない生徒との差がある。今後、放課後学習会等で個別の自主学習への支援が必要である。さらに、授業者側の項目では「めあて・ねらい」の提示や話合い等、授業内容やICT機器の活用による授業の工夫も進めていく。また「1,2年の授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取組んでいたと思いますか」は肯定意見が全国比0.7P高い。「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」は全国比2.2P低い。「1,2年の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等工夫して発表していたと思いますか」は全国比2.0P高い結果であった。

○今後の取組

落ち着いた環境で教育活動が学校全体で行われている。各教科で履修する内容を様々な学習方法や内容に関して、生徒にとって魅力ある授業づくりが行われている。

今後、学習に関しては予習復習を行う生徒の個人差が大きいことから、学習習慣定着のための支援が必要である。ICT等の更なる活用により生徒の興味関心を高め、一人ひとりの生徒へのきめ細かい指導や、入り込み等による習熟度別学習の充実が必要である。生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるように授業を進めていく。

学校元気アップ事業による放課後学習会の開催や、英語検定・漢字検定の継続等、学習に対する意欲の向上を図る取組みを進めていく。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シートより（31年度）

○結果の概要

体力合計点の前年度比において、男子は 41.42 [全国 42.32] ⇒(R1) 36.06 [41.69] 5.36 低く、女子は 54.22 [全国 50.61] ⇒(R1) 49.76 [50.22] 4.46 低い結果であった。

男子においては「50m走」は全国平均を上回った。女子は「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回った。

○成果と今後取り組むべき課題

男女とも「保健体育の授業は楽しいですか」の項目は高い数値を示している。保健体育の授業では基礎的なトレーニングを十分取り入れたプログラムになっている。基礎体力の定着と共に、体幹を鍛える運動を生徒自らが積極的に取組んでいる。

さらに、生涯体育の視点で、多様な種目を授業に取り入れ、ルールを守り楽しみながら体育の授業が行われている。また、保健の授業では自分の身体を知ることや、健康と運動や、医学とスポーツ等の関係についても学習を深めている。今後も継続して基礎的な体力づくりを行い、生徒自らが心と体を鍛える取組みを推進していく。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○令和 2 年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える生徒の割合を平成 28 年度調査より向上させる。

○令和 2 年度の校内アンケートにおいて「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える保護者の割合を平成 28 年度調査より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○令和 2 年度の全国学力・学習状況調査「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、平成 28 年度調査より 1 P 以上減少させる。

○令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を、平成 28 年度調査より 1 P 以上向上させる。

2. 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

全市共通目標

- ① 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。
- ③ 令和2年度末校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- ④ 令和2年度末校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ⑤ 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」答える生徒の割合を前年度(62.7P)調査より向上させる。
- ⑥ 令和2年度の校内アンケートにおいて「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える保護者の割合を95P以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- ① 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ② 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3P以上減少させる。
- ③ 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1P以上増加させる。
- ④ 令和2年度全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度(70.6P)より増加させる。
- ⑤ 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子は特に課題である20Mシャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げの平均記録を前年度より向上させ、全国平均に近づける。女子は前年度の結果を維持していく。

学校園の年度目標

- ⑥ 令和2年度の全国・学力学習状況調査「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、3.0P以下にする。
- ⑦ 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における各学年の合計得点を前年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

全市共通目標

学校園の年度目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

学校園の年度目標

(様式 2)

大阪市立東陽中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなか		年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】			
全市共通目標			
① 令和 2 度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。			
② 令和 2 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか。」の項目について「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。			
③ 令和 2 年度末校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。			
④ 令和 2 年度末校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。			
学校園の年度目標			
⑤ 令和 2 年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」答える生徒の割合を前年度(62.7P)調査より向上させる。			
⑥ 令和 2 年度の校内アンケートにおいて「防災・減災・安全に関する教育を実施し、安全確保や事故防止に努めている」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える保護者の割合を 95P 以上にする。			

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①⑤【施策 1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめ・差別を許さない学校づくり。人権学習の年間計画を立て計画的実践する。 いじめアンケート調査・生徒教育相談を定期的に行い、生徒理解を深める。人権に関する芸術鑑賞実施。</p> <p>指標：いじめアンケート年3回実施、生徒教育相談年2回以上実施。家庭訪問を行い、早期発見対応をめざす。いじめについて系統的に学習に取組む。いじめアンケートの検証。令和2年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。</p>	
<p>取組内容②⑤【施策 2：道徳心・社会性の育成】</p> <p>全ての教育活動を通してあいさつがしっかりとでき、相手の立場になって考え方行動できる人づくりを進める。年間35時間の道徳の時間を有効に活用する。読み物資料等を活用し、道徳授業づくりを進める。インクルーシブル教育の充実を図る。</p> <p>指標：学校アンケート「人の役に立とうと思いながら行動できる」90%以上にする。 「学校や地域であいさつをしている」92%以上にする。道徳の時間、読み物資料を活用した授業等を行い、年次研修該当教員を中心に公開授業を行う。 支援学級在籍生徒を含む支援をする生徒の状況の把握を行う。</p>	
<p>取組内容③【施策 3：地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>こども相談センター、警察機関、区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラーとの連携や相談。朝の読書活動を定着させ、読書文化の継承と更なる推進(図書館、ブックトラックの活用、図書紹介、読書感想)</p> <p>指標：東成区学警連絡会等で生徒の情報交換を行い、指導の方向性を確認し、校内の暴力行為件数のゼロ件を継続する。</p> <p>全国学力・学習状況調査の「読書は好きですか」を昨年度(65.7P)より上回る。</p>	
<p>取組内容④【施策 1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>新たに不登校になる生徒を生じさせない、学級・学年集団づくりを進める。家庭との連携を深め、きめ細かい生徒指導を行う。</p> <p>指標：校内アンケート「学校での毎日の生活が楽しい」を前年度(88.6P)より向上させる。主任会・職員連絡会等での生徒情報共有。保護者・関係機関との連携を深め、こどもサポートネットを有効に活用していく。不登校対策に取組んでいく。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 2：道徳心・社会性の育成】</p> <p>社会体験(職業体験、ボランティア活動等)実施し、自分の将来を考えよう指導する。また、進路選択への情報提供をきめ細かく行う。</p> <p>指標 職業体験(2年生)、ボランティア清掃(1年生)を実施する。高校体験等へ積極的に参加させる。</p>	
<p>取組内容⑥【施策 1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>年間指導計画にそって、防災・減災に関する授業(講話、説明、地域防災訓練への参加)。「警備及び防災の計画」「学校安全管理マニュアル」等に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。学校保健委員会での防災学習の継続。</p> <p>指標：火災想定の避難訓練(年1回) 地震想定の避難訓練(年1回) 救急救命法(AED)</p>	

を含む）の講話（年1回）を実施する。また、地域防災訓練に15名以上の生徒参加。
ふれあい地域防災交流会の実施。

年間目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立東陽中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなか		達成状況
年度目標		
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】		
全市共通目標		
① 令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。		
② 令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1.0P 以上減少させる。		
③ 令和 2 年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3.0P 以上増加させる。		
④ 令和 2 年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。		
⑤ 校内の体力・運動調査において、男子は特に課題である 20M シャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げの平均記録を前年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より向上させ、前年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の全国平均に近づける。女子は前年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を維持していく。		
学校園の年度目標		
⑥ 令和 2 年度全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に対して「全くしない」と答える生徒の割合を、3.0P 以下にする。		
⑦ 令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を前年度より向上させる。		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①②③⑥【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上】 「自主学習習慣の確立」をめざし、放課後や長期休業中などの生徒自主学習時間を設定し、生徒の自主学習を支援する。 指標： 定期テスト前学年別放課後学習会。教員・学校元気アップ支援員等による学習サポート。年間各学年15回以上実施。	
取組内容①②③【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上】 国語・数学・英語科における個に応じた学習内容および習熟度別授業等を行う。(習熟度レベル上位層の更なる伸長および、下位層の引き上げにむけた取り組みを行う。) 指標： 授業前・授業後の生徒アンケートによる検証 校内アンケート・「授業を熱心に受けている」(R1は87.6P)・「学校は、子どもたちの学力向上のために、努力・工夫をしている」(同86.8P)より向上させる。	
取組内容①②③【施策6：国際社会において生き抜く力の育成】 小中連携による英語教育の推進。それぞれの学年の英語力の向上をめざす。 また、英検IBAを1、2年生全員受検させる。(1年生はテストD、2年生はテストC) 指標： 1年生は5級以上(R1:84.3)、2年生は4級以上(R1:78.0)、3年生は3級以上(R1:68.0)の英語力を有する生徒の割合を前年度より向上させる。	
取組内容①②③【施策6：国際社会において生き抜く力の育成】 ICTを活用した有効な授業づくり(プロジェクターの1年生への教室設置) 指標： 校内アンケート等により、授業等でのICT活用状況を増やす。	
取組内容④【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上】 授業研究に伴う校内研修の充実：全教員が年1回授業公開を行い、授業力の向上に取り組む。校内研究授業週間を活用し、教員相互のスキルの向上を図る。 指標： 全国学力・学習状況調査「授業では、生徒間で話し合う活動をよく行ったと思いますか。」について肯定意見を前年度(R1:70.6P)より向上させる。 「授業アンケート」で「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合を向上させる。	
取組内容⑤⑦【施策7：健康や体力増進する力の育成】 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計点を、前年度より向上させる。R1:男子は36.06[全国41.69]、女子は49.76[全国50.22]であった。 指標： 全国体力・運動能力、運動習慣調査の質問紙より「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」「朝食は毎日たべますか」の項目を向上させる。	
取組内容⑥【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上】 教科内での学習支援および家庭学習定着にむけた生徒の意識向上と保護者への啓発。 指標： 各学年の学習棚にある学習プリントを活用する。教科・学年が連携することによる学習サポート体制の確立を図る。	
取組内容【施策8：小中一貫教育の充実】 部活動体験、清掃活動、授業交流、小中教職員交流の推進、英語交流、管理職・教務主	

任との情報交流。

指標：事業後アンケート等での検証。

年間目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点